



立憲民主党は、2022年12月13日 日常任幹事会において、愛知県第7区総支部長として、  
**森本かずよし** さんを決定いたしました

2022年11月18日改正公職選挙法が可決成立したことを踏まえ、同年12月28日より全国の衆議院小選挙区のうち、10選挙区が増え、10選挙区が減ることになりました。(いわゆる10増10減)

これに伴い、愛知県内でも従来の15小選挙区が16小選挙区(+1)となり、その影響で、旧・愛知7区から瀬戸市が新・愛知6区へ、大府市・尾張旭市・豊明市・日進市・長久手市・東郷町が新・愛知7区を構成することになりました。

新・愛知7区では、森本かずよしさんが立憲民主党の総支部長として引き続き政治活動を続けていくことに決定をしました。

瀬戸市民の皆様、2020年11月以来の約2年間、短い間ではありましたが、ご指導ご鞭撻いただきありがとうございました。

新・愛知7区の皆様、引き続き、地域のことはもちろんですが、国全体のことをしっかりと考えて政治活動に取り組んでまいります。

この国の持続可能性の厳しさを数十年前から訴え、諸問題にその時々で取り組んでまいりましたが、その蓄積した経験とパワーをぜひ国政の場で生かしていきたいと考えております。今後、ますますのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

立憲民主党愛知県第7区総支部長  
元衆議院議員 **森本かずよし**



【森本かずよしプロフィール】

1966年生まれ 県立旭丘高校、東京大学 農学部農業経済学科卒/1989年 東海銀行入行、ロンドン現地法人等勤務/2000年 東海総合研究所入社(現・三菱UFJリサーチ&コンサルティング)/2009年 衆議院議員(1期)/2013年 (株)森本総合研究所設立(～現在)

令和5年4月の地方統一選挙の立憲民主党愛知県第7区からの公認候補予定者が決まりました

立憲民主党では、積極的に新人の自治体議員公認候補予定者の擁立を図ってきましたが、2023年3月1日時点では、下記の4人の候補予定者が決まりました。公認候補予定者以外にも協力関係にある仲間が全員政策実現にまい進できるように活動してまいります。地域から政治を変えていきます。

